

# SLP WORKS

## 25SALTIGA スプール

## 取扱説明書

### ●安全上の注意



- ① 工具やパーツ、分解中のリール部品など、尖った箇所があり危険です。取り扱いには十分ご注意ください。怪我をするおそれがあります。
- ② 目や顔にグリスやオイルが付いた場合は真水で洗い流してください。異常がある場合は医師の診断をお受けください。
- ③ 幼児の手の届く所には置かないでください。予期せぬ事故や怪我につながるおそれがあります。

### ●安全上・ご使用上の注意



- ① 本製品の組み立て、取り付けに伴いましてリールの分解が必要となります。適正な工具をご使用ください。破損のおそれがあります。
- ② 落下などの強いショックがかかると、破損する場合がありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- ③ リールの部品や本製品にはグリスや油が付いているので、服を汚さないようにご注意ください。
- ④ 組み立て、取り付け作業後は正常動作をご確認ください。
- ⑤ 分解作業時の部品紛失にご確認ください。
- ⑥ 部品が固着している際は無理に外すとリールの破損につながるおそれがあります。ご注意ください。
- ⑦ 本製品は釣具として開発されていますので、釣り以外の用途で使用しないでください。
- ⑧ 本製品は十分な強度基準で設計・製造されていますが、実釣時に想定以上の極端な負荷がかかるケースでは破損するおそれがあります。
- ⑨ 塩分を含んだ海水で道糸が濡れた状態のまま保管するとスプールが腐蝕するおそれがあります。水道水を巻糸部だけにあたるように掛けて海水を十分流してから保管してください。
- ⑩ シンナー、ベンジン、アルコール、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類などの有機溶剤は、本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、ご使用にならないでください。また、上記が手に付いたまま本機を扱うこともおやめください。
- ⑪ 製品改良のため、仕様およびデザインの一部を予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ⑫ 使用糸の径の大小、糸巻き時の張力の変化、作動クリアランスなどにより、表示巻糸量、巻糸状態に差異が生じることがあります。
- ⑬ 弊社純正部品以外の取り付けによる不具合は保証できません。また、弊社純正部品以外の部品が取り付けられたままの修理は場合によってはお断りさせていただくことがございますのであらかじめご了承ください。

### ●付属品

- ・巻糸状態調整ワッシャー
- ・スプールバンド
- ・ワーニングカード

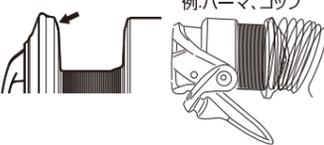
### ●その他

対応機種、スペックの最新情報につきましては、HPをご確認ください。  
<http://sportlifeplanets.com>

### ●スプール概要と糸の巻き方

スピニングリールをご使用中に、よくあるライントラブルとしてバーマ、ゴップがあります。

LC-ABS SW は、ライン放出時のトラブルを抑制しつつ、飛距離を伸ばすスプール構造です。巻糸部分の形状を見直し、キャスト時の抵抗を軽減することで、より遠投性能を高めました。



### ■LONG CAST-ABS SW 推奨巻糸量

スプールリングのひとつ下の段をこえないように巻かれることをおすすめします。下の段のエッジを越える位置まで糸を巻いた場合、または弱いテンションで糸を巻いた場合はバックラッシュを防ぐ性能が得られない場合がありますのでご注意ください。



### ■糸巻き時のご注意

- ラインを巻く際は、下記ラインテンションでの糸巻きをお薦めします。
- ・PE3～5号: 1kg
  - ・PE6～8号: 1～1.5kg
  - ・PE10号以上: 1.5～2kg
  - ・下巻きを含むナイロンライン: 500g以下

LC-ABS SWによるバーマ、ゴップの解消率は、釣種・糸の状態・キャスト時のミスや風の影響などにより多少異なります。以下のような場合は、LC-ABS SWの性能が十分に発揮されることがあります。

1. 糸を弱いテンションで巻いた場合
2. 糸を標準巻糸量より多く巻いた場合

**スプールにテンションを掛けすぎないようにご注意ください!**

推奨より高いテンションで糸を巻くと、スプール変形の原因となります。

### ●巻糸状態調整方法

#### <標準巻糸状態>

バックラッシュを防ぐために、標準状態に近づけるように付属のスプール調整ワッシャーを使用し調整してください。

※糸を巻くときの張力、使用糸の径のバラツキ等の条件の違いにより、巻糸状態が微妙に変化することがあります。

#### <標準巻糸状態調整時の目安>

糸を50m程度巻いた時に、前後端の糸巻径が等しくなるのが最適な状態となります。この時、LONG CAST-ABS SWの特性上、前後端がやや盛り上がる糸巻状態になります。

#### <前巻きすぎの場合>

スプールとメインシャフトの間に、付属のスプール調整ワッシャーを適当に追加して調整します。

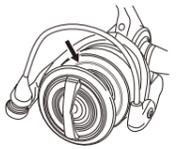
#### <後巻きすぎの場合>

スプール調整ワッシャーを抜くか、薄いタイプと交換して調整します。(但し、最低1枚はスプール調整ワッシャーを入れてお使いください。)

### ■下巻目安ライン

スプールには下巻に便利な目安ラインを付けました。このラインは最大巻糸量の1/3を示しています。

※使用糸が少なめの時は目安ラインまで下巻きをしてお使いください。



### ●アフターサービスについて

本製品は当社の厳重な検査を経て出荷されたものですが、万一、故障が生じ修理が必要な場合はお問い合わせの販売店、または下記のお客センターまでお問い合わせください。なお、修理品は部品代のみ手数料をいただきますのでご了承ください。

お客様センター(無料) 携帯電話からもご利用できます

TEL 0120-506-204 【受付時間】9:00～17:00  
(土・日・祝祭日は除く)

ホームページ上からも確認、お問い合わせできます

<http://sportlifeplanets.com>

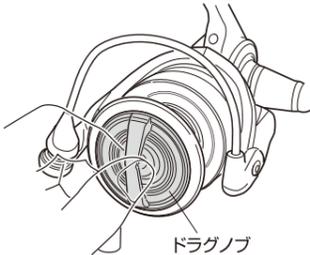
株式会社スポーツライフプラネット

〒190-0031 東京都立川市砂川町8-79-1

Printed in Japan

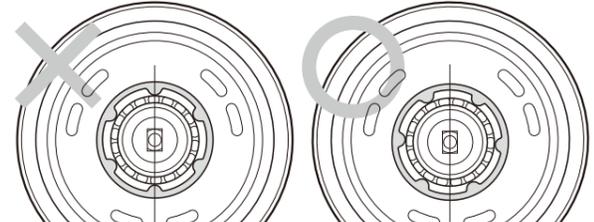
### ●スプール脱着方法

- ※ドラグノブを反時計回りに回せば、外れます。
- ※スプールの着ける際はドラグノブを時計回りに回してください。



### ▲ご注意

- ※ドラグノブの防水パッキンにより、ドラグノブが外れにくいことがあります。ドラグノブを充分緩めたところで、スプールの押し込みを強くすると、簡単に外すことができます。
- ※本機種は機構上、ドラグノブを外した状態ではスプールのクリック音が鳴りません。また、ドラグノブ組込後は、スプールが一定量回転するまでスプールのクリック音が鳴らないことがありますが、製品の使用上問題はありません。
- ※防水構造上、スプールの外す際にスプール調整ワッシャー類が外れる場合がありますのでご注意ください。
- ※ドラグノブを組み込む場合、スプールの回転位置(図1の状態)では組み込みができません。必ずスプールの回転位置を図2の状態にしてからドラグノブを締めてください。



### ●スプール交換時の注意

25SALTIGAのDRD搭載アイテムは、DRD用に専用設計されたドラグノブを搭載しています。スプール交換時は下記の点にご確認ください。

1. 25SALTIGA8000/10000/14000に25SALTIGA DRD14000SPOOL (別売) を装着する場合、ドラグノブを25SALTIGA DRDラジエーションノブ (別売) に交換してご使用ください。
2. 25SALTIGA30000に装着可能なスプールは25SALTIGA30000スプールのみとなります。他番手スプールとの互換性はありませんのでご注意ください。

### ●DRDのメンテナンス

DRDは、金属ローラーを使用した高耐久ドラグです。

性能を十分に発揮させ安心してお使いいただくために、定期的なメンテナンスをお薦めします。

※メンテナンスは、DRDグリスをご購入いただきお客様ご自身で行っていただくか、弊社アフターサービス会社(株)スポーツライフプラネットへお預けください。

#### 【メンテナンス時期の目安】

- ・ドラグの作動に変化が見られる時(糸の出方や音など)
- ・ドラグ作動距離2,000～3,000m(ドラグ力10kg程度の場合。使用条件により異なります)

#### 【メンテナンス方法】

1. スプールからスプールベアリングリングと、ドラグリングを外しドラグワッシャー類を取り出す。
2. DRDワッシャーとドラグリップW、ドラグディスクWの古いグリスをウェスを使用し拭き取る。
3. DRDワッシャーの表裏面に、DRDグリスを筆などを使い満遍なく塗布する。
4. スプール内に残った古いグリスを拭き取る。
5. 部品の順番、向きに注意して組み戻す。

#### 【メンテナンス上の注意】

1. DRDのローラー全体がグリスで覆われるよう十分量を塗布してください。グリスの塗布が少ないと、摩擦や焼き付きにつながるおそれがあります。
2. 本来のドラグ性能を発揮させるため、組み戻す際の部品の順番や向き、モレにご注意ください。(右図にならって組み戻してください。)(※右図は18000～25000番)
3. 分解作業時はピンセットなどの工具を必ずご使用ください。手で直接分解を行うと怪我をするおそれがあります。

